

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
怖	フ こわい								大聖武
怜	レイ レン あわれむ さとい								長安碑・龍藏殿碑
憐	レン あわれむ								巽替指歸
恩	オン								杜家立成
									趙志集
悔	カイ くいる くやむ くやしい								巽替指歸
悔	人①								
恢	カイ おおきい ひろい								光明皇后藥師論
恢	改正前								
恰	カツ コウ あたかも								巽替指歸

【怖】説文解字の或体の字体。  
 【怜】干禄字書では「怜」を〈俗〉、「憐」を〈正〉とする。中国本土では「怜」・「憐」は「怜」に統合されている。  
 【恩】恩の中の「大」は「土」や「工」に変化する。  
 【恢】JIS2004で例示字体が改定された。改正前は「恢」。

平安中期 から 室町	江戸版本 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考	
											怖 中・台・香	
怜		怜	怜	怜		怜	怜					怜 中国
憐		憐	憐	憐			憐					憐 台湾
			憐									憐 香港
恩		恩	恩	恩		恩	恩	恩	恩	恩		恩 中・台・香
悔		悔	悔	悔		悔	悔	悔	悔			悔 中国・台湾
												悔 香港
恢		恢	恢			恢						恢 中・台・香
恰		恰	恰	恰		恰						恰 中・台・香

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期			
恐	キョウ おそれる おそろしい		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎			
常①			睡虎地秦簡	説文・心部 馬王堆	乙瑛碑	集字聖教序	濟清堂帖	張猛龍碑	孔穎達碑	五経・心・説文	王勃詩序	
				𠄎				𠄎	𠄎	五経・心・石経	瑠玉集	
				𠄎								
				𠄎								
				𠄎								
恭	キョウ うやうやし い		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎			
常①			居延漢簡	居延漢簡	乙瑛碑	智永千字文		鄭義下碑	王知敬・李瑒碑	五経・心部	龔賢指歸	
				𠄎				𠄎	𠄎			
				𠄎				𠄎	𠄎			
恵	ケイ めぐむ		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎			
常①			西周・金文	睡虎地秦簡	説文・恵部 馬王堆	西狹頌	十七帖		張猛龍碑	温彦博碑	風信帖	
				𠄎								
恵				𠄎								
人②				𠄎								
恒	コウ つねに		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎			
常①			甲骨	首鼎	睡虎地秦簡	説文・二部 馬王堆	鄒蘭頌	十七帖	集字聖教序	于景墓誌	雁塔聖教序	龔賢指歸
				𠄎								
恆				𠄎								
人②				𠄎								
恨	コン うらむ うらめしい			𠄎		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎			
常①				説文・心部		十七帖	王献之	元頭魏墓誌	泉男生墓誌		杜家立成	
				𠄎								
恕	ジョ			𠄎		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎			
人①				説文・心部		孔宙碑	淳化閣帖	王献之			大聖武	
				𠄎								

【恵】中国・台湾・香港ともに「恵」の字体で、日本のみ「恵」を常用漢字とする。「恵」は日本では人名用漢字でJIS第二水準。弘道軒四号には「恵」しかなく、弘道軒三号には「恵」しかない。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころこ	通字体活字 明治41～ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
恐	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎		恐
粘葉本朗詠	節用	心6		坊っちゃん	陸軍					○		中国・香港
𠄎	𠄎	𠄎			𠄎							恐
粘葉本朗詠	節用	古文			陸軍							台湾
					𠄎							
					𠄎							
恭	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎			𠄎	𠄎	𠄎	𠄎		恭
五常俗談集		心6		坊っちゃん								中・台・香
𠄎	𠄎	𠄎		𠄎								
節用				坊っちゃん								
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎		恵
		心8	弘道軒四号	坊っちゃん						×		中・台・香
		𠄎										
		𠄎										
恒	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎		恒
無量義経	節用	心6			明治の漢字					○		中国
恆	𠄎											恆
節用												台湾・香港
恨	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎		𠄎	𠄎	𠄎	𠄎		恨
粘葉本朗詠	節用	心6		坊っちゃん								中国・台湾
𠄎		𠄎		𠄎								恨
粘葉本朗詠		本字		坊っちゃん								香港
		𠄎	𠄎	𠄎								恕
節用		心6										中国
		𠄎										恕
		𠄎										恕
		𠄎										恕
		𠄎										恕
		𠄎										恕
		𠄎										恕

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
息	ソク いき 教3常①		息 睡虎地秦簡	息 説文・心 馬王堆	息 史晨前碑	息 智永千字文	息 集字聖教序 牛欄造像記 孟法師碑	息	王勃詩序
			息 郭店楚簡	息 銀雀山竹簡					
恥	チ はじる はじ はじらう はずかしい 常①		恥 説文・心部	恥 尹宙碑	恥 智永千字文	恥 鄭義下碑 康留買墓誌	恥 五経・心部	恥	王勃詩序
耻	②					耻 元略墓誌 圭峰禪師碑		耻	
恋	レン こう こい こいしい 常①		戀 説文不録	戀 敦煌漢簡	戀 王献之	戀 劉根等造像	戀	戀	王勃詩序
戀	②					戀 于山船墓誌	戀	戀	璚玉集
恔	シ ほしいまま 常②		恔 説文・心部	恔 敦煌漢簡		恔 信行禪師碑	恔	恔	画図讀文
						恔 等慈寺碑		恔	
惡	アク オ わるい 教3常①		惡 睡虎地秦簡	惡 説文・心部 銀雀山竹簡	惡 夏承碑 淳化閣帖 王献之	惡 牛欄造像記 雁塔聖教序	惡 干祿字書	惡	豐替指歸
惡	人②			惡 居延漢簡	惡 西狹頌	惡 五経・心部	惡	惡	豐替指歸
					惡 北海相景君碑			惡	豐替指歸
悦	エツ よろこぶ 常①		悦 説文不録	悦 石門頌	悦 漢魏石字	悦 敬史君碑	悦 九成宮	悦	杜家立成
悦				悦 西狹頌	悦 鄭義下碑			悦	
				悦 桐柏廟碑				悦	

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
息	息	息	息	息			息	息	息	息	息	息 中・台・香
				坊っちゃん								
恥	恥	恥	恥	恥	耻		恥	恥	恥	恥		耻 中国
				坊っちゃん	陸軍					〇		恥 台湾・香港
戀	戀	戀	戀	戀	恋		戀	恋	恋	恋	恋	戀 台湾
				こころ	明治の漢字					(戀)		戀 香港
恔	恔	恔	恔	恔							恔	恔 中国
												恔 台湾
												恔 香港
惡	惡	惡	惡	惡	惡		惡	惡	惡	惡	惡	惡 中国
				坊っちゃん	漢字要覧					×		惡 台湾
					漢字要覧							惡 香港
悦	悦	悦	悦	悦	悦		悦	悦	悦	悦		悦 中国
				坊っちゃん						×		悦 台湾
												悦 香港

【恥】「耻」は俗字とされている。多くの例で旁は「心」にしては1画足りず、「止」か「止」の草書を書いているように見える。もしかしたら「恥」の方が俗字という可能性はないだろうか。漱石が「耻」を使っているのにしびれる。  
【恋】「戀」は旧字体。岩田母型製造所が所有していた弘道軒

には新字体しかないが、『小説神髓』には旧字体の「戀」の弘道軒が印刷されている(小池和夫さんからの情報)。漱石も太宰も略字を書いている。  
【恔】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
患	カン わずらう		患	患	患	患	患	患	患
			患	患	患	患	患	患	患
悟	ゴ さとる		悟	悟	悟	悟	悟	悟	悟
悉	シツ ことごとく つくす つぶさに		悉	悉	悉	悉	悉	悉	悉
悌	テイ ダイ		悌	悌	悌	悌	悌	悌	悌
惱	ノウ なやむ なやます		惱	惱	惱	惱	惱	惱	惱
惱			惱	惱	惱	惱	惱	惱	惱

【悟】北魏では「忄」の右の点を略すことがある。江戸期は「五」の一画目を略すことがあり、漱石も略した字体を書いている。

【惱】説文解字には女偏の字が載っている。干祿字書は傍の下部分が「山」になっている。漢字整理案では傍の「ツ」の3画

目と「凶」の「メ」が連結されている。異体字として「惚」を書くことがある。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
患	患	患	患				患	患	患	患		患
		患										
		患										
悟	悟	悟	悟	悟			悟	悟	悟	悟		悟
		悟										
		悟										
悉	悉	悉	悉	悉								悉
		悉										
		悉										
悌	悌	悌	悌	悌								悌
		悌										
		悌										
惱	惱	惱	惱	惱			惱	惱	惱	惱		惱
		惱										
		惱										

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
悠	ユウ 常①								聖武天皇雑集
惟	イこれ ただ 人①								聖武天皇雑集
惚	コツ ほれる ほのか 人①								二荒山碑文
恚									性靈集
慘	サン ザン みじめ 常①								王勃詩序
慘	②								元緒墓誌
惹	ジャク ジャ ひく 人①								空海・大日経題
情	ジョウ セイ なざけ 教5 常①								王勃詩序
情									豊替指歸
惜	セキ おしい おしむ 常①								王勃詩序
惣	ソウ すべて 人①								聖武天皇雑集
惣	④								聖武天皇雑集
総	ソウ すべて ふさ 教5 常①								豊替指歸

【悠】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。

【惚】「惱・惱」の異体字として「惚」が使われることはあるが、反対に「惚」の異体字として「惱・惱」が使われることはないようである。

【惣】この字は中国では使われていないらしい。『經典文字辨證書』によると、「總」が正で「惣」「惣」が俗。『九經字樣』によると「惣」が説文の字体で「總」が經典の字体、とあるが説文には「惣」がみつからず「總」がある。『日本名跡大辞典』では「惣」を「總・惣・捺・統」の異体字としている。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころこ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
												悠 悠 中国・香港 台湾
												惟 惟 中国・台湾 香港
												恚 恚 千祿(俗) 中・台・香
												慘 慘 中国 台湾
												慘 慘 香港
												惹 惹 中国・香港 台湾
												情 情 中国・香港
												情 情 台湾
												惜 惜 中・台・香
												总 总 中国
												總 總 台湾
												總 總 香港

「総・總」の中国簡体字は「总」。